

大学名 国立大学法人 鳥取大学

表題 日本で最も人口の少ない県「とっとり」を活気づける鳥取大学発医工連携の取り組み

取組の様子



共学講座・臨床現場見学会の様子
(写真中央:古賀准教授)



本学の取り組みを発信する
YouTube番組の一場面

特色ある取組

鳥取大学では、医学部附属病院 新規医療研究推進センター研究実用化支援部門・部門長を務める**古賀敦朗** **URA准教授**が中心となり、大学病院を企業の医療機器開発の場として開放し、ユニークな**地方版医療機器開発拠点**の形成を進めてきた。地方大学の強みを活かし、全国の様々なステークホルダーとの連携のもと、10年間で**27品目を製品化**した実績は全国随一である。本取組を踏まえ、本学の医学部・工学部・農学部を連携させる学際連携は、**大学の教育改革や企業との大規模連携の基盤**としても有用となっている。

共学講座

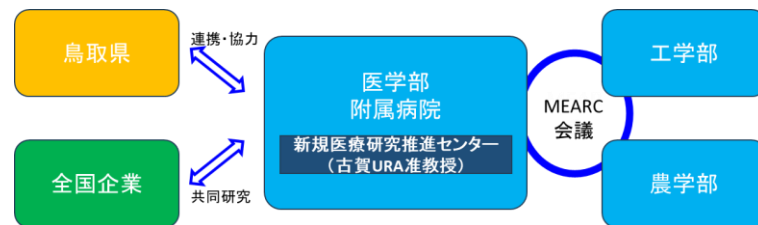
- ▶ **「開かれた病院」**: 臨床現場を企業に開放・医療機器開発人材育成講座「共学講座」を開講
- ▶ **全病院を挙げた医療機器開発体制**(大学病院の縦割り構造を打ちこわし、全診療科・全職種が参加する体制)を構築
- ▶ 2014年より取り組みを開始し、**27品目を製品化**

全国ネットワーク

- ▶ **「越境」**: 県境を超える・医療機関を超える・業界を超える・国境を超えるを断行(**全国64社が参加**)
- ▶ **「地域・大学間連携」**: 福島県との連携による製品化2件、長崎大学版共学講座の開講など
- ▶ **医療機器開発拠点ネットワーク「和」**: AMED事業に採択されている医療機器開発拠点との連携

医工農連携

- ▶ **MEARC会議の設立・運営**: 医学部・工学部・農学部による医療機器開発プロジェクト会議(月1回)
- ▶ **医工学プログラムの開講**: 工学部学生を対象にした医療機器開発人材育成コース「医工学プログラム」が2023年度開講
- ▶ **企業連携の土壌**: 医工農連携体制を活用した研究



期待できる成果・評価 など

- ① 医療機器産業集積地域の構築: 山陰地方を「医療機器バレー」にすると目標を掲げ、地域企業経済活性化・雇用創出に貢献することが期待できる
- ② 全国の地方大学のモデル: 本学の医工連携の取り組みを参考にする大学へと波及させる取り組みとなる可能性がある
 - ☞ 2024年度AMED「優れた医療機器創出に係る産業振興拠点強化事業(分野2)」に採択された
 - ☞ 鳥取県は2024年より「とっとりメディカルバレー研究会」の立ち上げを計画している

参考URL

- ・新規医療研究推進センターHP
<https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/departments/center/amirt/>
- ・共学講座HP
<https://kyogaku.net/>